

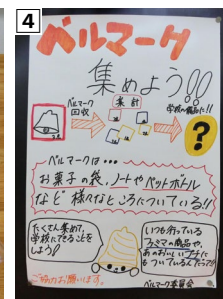
Bellmark Shimbun

ベルマーク新聞 2月号

発行 公益財団法人 ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表)
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

地域ぐるみの協力で500万点達成

 新潟・長岡市立東北中、強力な助っ人も活躍



- ①ベルマーク委員会のみなさん
- ②前列左から、近藤結衣さん、亀山睦さん、横山泰知さん、後列左から、委員会を担当する植村りん子先生、西川隼先生、柳澤歩先生。Web会議システムで放課後の教室とつないだ
- ③ペットボトルの下部などを活用した仕分け道具
- ④収集を呼びかけるポスター
- ⑤ベルマークの預金で購入した製氷機

新潟県長岡市の市立東北中学校（淡路弘幸校長、生徒666人）は、ベルマークの集票点数が過去10年で3回県1位になった活発校です。昨年は一度に67万点も積み上げ、累積500万点を突破しました。そこには地域ぐるみの協力と、強力な助っ人の存在がありました。

東北中は1954年創立、1964年からベルマーク運動に参加しています。各クラス2人ずつ出すベルマーク委員会が活動の中心。年に数回ベルマークを集める週間を設け、委員が回収箱を持って朝の生徒玄関に立ちます。

それに加え、年1回の全校をあげた校区の資源回収で、ベルマークがたくさん集まるのが同校の特徴です。地域にはこ

の回収に向けてマークを貯めている人が大勢いるとのこと。「今年度はコロナで回収は中止になりましたが、地域の方には、マークがあれば近くの生徒に渡すよう案内しました」と委員会担当教諭の一人、西川隼先生は話します。

集めたベルマークは委員が昼休みの時間などに交代で会社別に仕分けしますが、それを点数別に集計して仕上げる作業は、ボランティアの亀山睦（ひとみ）さんが一手に引き受けています。2011年春に卒業したお子さんの保護者で、お子さんも3年間ベルマーク委員を務めていました。当時の副校長が卒業式で「学校でできるボランティアを、卒業後も辞めず続けてほしい」と話したのを受け、マ

ーク整理のボランティアに名乗り出ました。以来ずっと、強力な助っ人として活動しています。

昨年67万点を積み上げることができたのは、ある保護者が大量のマークを提供したためでした。勤め先の会社ぐるみで集めていたマークとのことで、段ボール10箱分もありました。

仕分け作業は大変で、特別支援学級の作業学習の時間も使ったそうです。亀山さんも集計するのに「1カ月ほどかかりました」と言います。

累積500万点を達成したときは、ベルマーク委員長の近藤結衣さん（3年）が、お昼の放送で全校生徒に伝えました。「みんな、ベルマークを見逃すことなく切り

取って持ってきてくれる。生徒以外にも多くの方が協力してくれました」と近藤さん。亀山さんに対しても「毎年すごい量のベルマークを作業してもらい感謝しています」と話します。

副委員長の横山泰知さん（3年）は「例年はボランティアを募集することもあるけれど、今年度はそれができず大変」。作業する際も距離をとるようにしているそうです。

担当教諭の一人、柳澤歩先生は自身も東北中出身。「でも当時はなんとなく集めていました。今はちゃんと集めなきゃ、との思いです。次の600万点を目指し、みんなに呼びかけていきます」と話しました。

3000円の商品券が当たる

 ユニーと麒麟ビバレッジのベルマーク企画

流通大手のユニーと協賛会社の麒麟ビバレッジ（ベルマーク番号54）は、「麒麟ビバレッジのベルマーク商品を買ってユニーの商品券をプレゼント!!」キャンペーンを展開中です。

ユニーのスーパー「アピタ」「ピアゴ」「ユーストア」で麒麟ビバレッジのベルマーク商品を含む500円以上の買い物をし、そのレシートと商品に付いていたベルマーク1枚以上を、店頭にある専用ハ

ガキに貼って応募すると、抽選で100人に3000円分のユニー商品券が当たります。レシート有効期間は1月18日～2月28日。応募締切は3月1日、消印有効。詳細は専用ハガキをご覧ください。集まったベルマークはハンドルのある学校のために使われます。



新しい「ムーチョ」続々

 湖池屋、限定商品とリニューアルで

協賛会社の湖池屋（ベルマーク番号77）は、新商品「冬のHOTカラムーチョ」を冬季限定販売しています。「海鮮辛味噌味」と「和牛生姜白湯味」の2種類（いずれも100g、オープン価格）。また、以前好評だった「めっちゃすっぱムーチョ」も復活させました。同社の「ムーチョ」シリーズは昨秋にリニューアルされたばかりで、ベルマークのデザインも変わり、キャラクターの「ヒーおばあちゃん」

「ヒーヒーおばあちゃん」が点数を叫んでいます。「細部まで遊び心を持ち、みなさんに笑顔や元気を与えられるように心がけています」と同社マーケティング本部マーケティング部第1課の小林重文さん。ベルマークにもぜひご注目ください。

